

<H26-No13 : 地形測量 : 問題>

次の a～d の文は、公共測量において、現地測量により地図情報レベル 1000 以下の数値地形図データを作成する場合のネットワーク型 RTK 法による細部測量について述べたものである。

ア ～ オ に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

- a. GPS 衛星のみで観測を行う場合、使用する衛星数は 5 衛星以上とし、セット内の観測回数は FIX 解を得てから ア エポック以上を標準とする。
- b. TS 点を設置し、作業地域周辺の既知点において単点観測法により整合を確認する際は、既知点数は、イ 点以上を標準とする。
- c. 地形、地物等の測定は、ウ 方式により 1 セット行うものとする。
- d. 配信事業者から送信される エ を用いて即時に オ を行い、地形、地物等の位置を測定する。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	10	3	干渉測位	補正情報	基線解析
2.	5	3	干渉測位	時刻情報	基線解析
3.	5	2	単独測位	補正情報	基線解析
4.	10	2	干渉測位	補正情報	ネットワーク解析
5.	5	3	単独測位	時刻情報	ネットワーク解析

<H26-No14 : 地形測量 : 問題>

次の a～d の文は、公共測量における地形測量のうち、トータルステーション（以下「TS」という。）を用いた細部測量について述べたものである。正しいものだけの組合せはどれか。次の中から選べ。

- a. 測定した座標値等には、その属性を表すために原則として、分類コードを付すものとする。
- b. 地形、地物等の測定において、TS による測量と RTK 法による測量とは、併用して実施してはならない。
- c. 基準点又は TS 点に TS を整置し、放射法又は同等の精度を確保できる方法により地形、地物の位置を測定し、数値地形図データを取得する。
- d. 地形の測定では、地性線及びジオイド高を測定し、図形編集装置によって等高線描画を行うものとする。

- 1. a, b, c
- 2. a, c
- 3. a, d
- 4. b, c, d
- 5. b, d

<H26-No15 : 地形測量 : 問題>

トータルステーションを用いて細部測量を実施した。既知点 A から求点 B を観測し、方位角 $T = 30^\circ$ 、既知点 A と求点 B の距離 $S = 160\text{m}$ を得た。また、この測量において距離測定 of 標準偏差が $5\text{mm} + 5 \times 10^{-6}D$ 、(D は測定距離)、角度測定 of 標準偏差が $5''$ であった。この測量により得られた求点 B の位置 of 標準偏差は幾らか。最も近いものを次の中から選べ。

ただし、角度 1 ラジアンは、 $2'' \times 10^5$ とする。

なお、関数の数値が必要な場合は、巻末 of 関数表を使用すること。

1. 5.8 mm
2. 6.1 mm
3. 7.0 mm
4. 7.4 mm
5. 9.8 mm